

# 川越市市政だより

No.103 月1回10日発行一部2円 (昭和32年6月10日)  
発行所 埼玉県川越市役所 第三種郵便物認可

夏の健康を守る月間  
6月20日～7月20日  
くらしの計画をすすめる運動  
6月20日～7月31日  
社会を明るくるする運動  
7月1日～7月31日  
児童の事故防止運動  
7月1日～8月20日  
自然に親しむ運動  
7月10日～7月16日  
第11回国土建設週間  
7月21日～8月20日  
納期限 7月31日  
税金の納税にご協力ください

こうほうガイド

広報こよみ



## 財政事情の公表

### 市長の財政方針

この六ヶ月間に予算の追加更正は一般会計の五回あります。

規模であります。

もともとの数字の中には昭和三

十二年度からの歳入歳出金三千六百万円を始め、歳出歳入の歳入歳出金

田を始め、歳出歳入の歳入歳出金

積立金の出入額等、不時財政運

営額を含んでおりますので、市の

財政としては正常規模以上に膨張

したものといえます。それに

ても予算六億を超過したといえまし

う。

この金額のうち主な事費費は

市政の大好きな進歩といえまし

う。

以上その他諸事業の昭和三十三年

度当初予算からの通算は一億二千

万円で予算総額の三五%にあたり

これも市政上定期的な数字であり

これらは算化諸事項はほとんど活

躍に実施されました。

積みますと投資的経費は昭和三十

年が七千九百万円、昭和三十二年一億

六百万円と次第に増加してきたの

ですが、三十三年度に至りこれら

の数字を確かに上廻る事務を実施

できました。

昭和三十三年度はまた財政再建

が七千九百万円、昭和三十二年一億

六百万円と次第に増加してきたの

ですが、三十三年度に至りこれら

の数字を

(2) 昭和34年7月10日

## 川越市政だより

第三回郵便物認可

七月一か月間、全国的に実施されるこの運動は、終戦後の激増する犯罪を減らす方法として、法務省が主導し、社会代表の実施委員会が主催、実施してきたもので、その主なねらいは「もし犯罪者や非行少年がいた場合は、一日も早く改善、更生するよう援助する」ことの必要を、あらゆる人々が理解し、これにつけるように呼びかけようとするものです。

自分の家庭から犯罪者のであるのを喜ぶ者のあるはずはありません。しかし、犯罪者は毎日跡を絶つことはなく、終戦後、社会情勢が次第に落ち着いてきているにもかかわらず却つて増加の傾向があり、特に

毎年思ひがけない事故で死ぬ人は三万三千人もありますが、そのうち一万三千人ぐらいが十八岁以下の子供で、しかもその半分以上、七千人が幼児となっています。事故の種類では、番が多いのが水の事故、次が自動車事故ですが、日増しに暑さが加わり、学校も休暇に入ると子供たちの水遊びが一段と盛んになります。保護者のかたの充分な注意をお願いします。

埼玉県で昨年の七、八月中に発生した水難事故は、男五名、女六名、計五十七名もありました。

川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。



## 水禍から子供を守ろう

川越市青少年問題協議会結成までも早くから、この問題を取り上げ、毎年その対策、指導を実施してまいりましたが、六月二十三日に正式に、川越市青少年問題協議会を結成、役員の発令をいたしました。

川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流されたりするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流されたり多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくところで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された

り多いのです。特に雨の後の川は増水するばかりでなく水底や水流が変るので、その用心が必要です。

3、子供の水泳にはできるだけ保証者がつきき、目のとどくで

ころで遊はせること、炎天下を歩いてすぐ水に入ると、心臓マヒを起すことがあります。

4、地域別では、川越市内の七名が最も多く、秩父五名、岩槻、久喜、幸手の各四名、秩山の三者がこれにつき、鳴東ほか八署を除いた警察署管内はいずれも一二名の事故がありました。

5、川越市青少年問題協議会（敬称略）委員会長 川越市長 伊藤泰吉

連合会、社・福社協議会と共に、七月十一日午前一時から午後二時、市議会議場（六名）にて、

口、年令別では、一才一七才、一五名、八才一二才、二四名、一三才一六才、六名、一七才一二十才、七名、二〇才以上、五名、となつており水泳中の原因が四七%で最も多くなっています。

河川や運河、防火用の貯水池のそばで幼児をひとり遊ばせて思われ不幸を招かないよう、家庭での注意が必要です。

2、水泳中のでき死事故は、そのほとんどが水泳ができないため、深みに足をとられたり、流された

りするのですが、そのほかに危険な水域に入つて流れたり、流された